

自ら算数の課題を解決しようと意欲的に取り組む児童の育成

課題解決に必要な手がかりを考えるためのワークシートや話し合い活動を通して

算数・数学班 齋藤 春生（小学校教諭）

【児童の実態】

- 課題解決の手がかりが見つからず、早い段階で意欲を失ってしまう。



『手だて』

- 既習事項の中から課題解決の手がかりとなる知識・技能を考えるためのワークシートの工夫
- 課題解決の方法を児童同士が話し合う活動

【目指す児童像】

- 自ら課題を解決しようと意欲的に取り組む児童



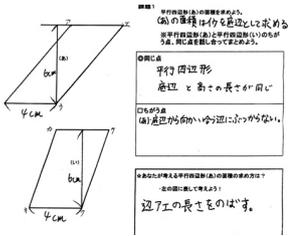
実践例 算数科 5年生 「図形の面積」

課題をつかむ過程

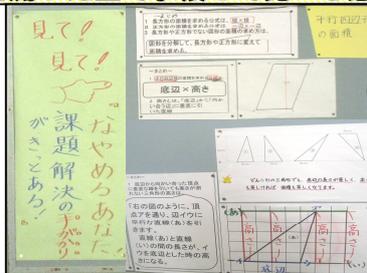
第2時 「平行四辺形の面積を工夫して求めよう！」

『ワークシートの工夫』

マス目の無いワークシート上に形は異なるが同面積の平行四辺形を3つ提示した。面積の大きい順を予想する課題を与え、必要な長さを測った上で求積して比べる必要性をもたせた。



平行四辺形の大きさを比べるため必要な長さをワークシートに図示し、それぞれの面積を求めた。



必要な長さがわかったぞ



- 成** マス目の無いワークシートにしたことで、求積に必要な長さを自ら考えて測る必要が生じ、課題解決に積極的に取り組むことができた。
- 果** 予想の正否を確かめる必要があるため求積活動にも積極的に取り組めた。

課題を追求する過程

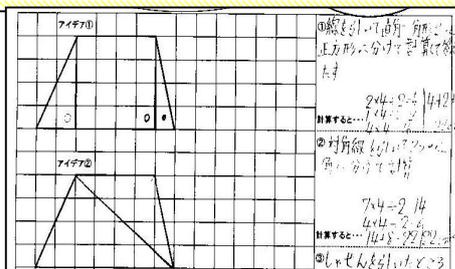
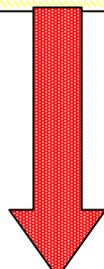
第9時 「台形の面積を工夫して求めよう！」

『話し合い活動』

三角形や平行四辺形の求積法を手がかりとして、台形の求積にどう結びつけるかをマス目のあるワークシート上に図示された台形を使って、ペアで話し合う活動を取り入れた。



長方形と三角形二つに分けると、面積が求められるよ。



そういう考えもあったんだ



- 成** 異なる考え方をワークシートに書き加えることで課題をより意欲的に追求することにつながった。
- 果** ペアとの話し合いから、倍積や等積変形の考え方を台形へ適用する方法がわかり意欲的に求積できた。ペアとの話し合いの中で、自分と同じ考え方にふれ、自信をもって課題を追求できた。

☆ 成果と課題 ○課題を解決していく場面で、手がかりを考えるためのワークシートの工夫やペアでの話し合いを取り入れたことで課題解決に対する意欲をもって取り組める児童が増えた。
△学習課題に対する児童の反応をより細かく予想し、児童の実態にあったワークシートにする必要がある。